

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： ボランティア概論 ナンバリング：1006	保育士資格取得のための 選択科目	単位数：2単位 (半期) 講義	担当教員名：久米隼 担当形態：単独
系 列	教養科目		
教科目	外国語、体育以外の科目		
<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 1. 自らの考えで様々な問題に取り組むことがボランティア活動であることを知る。 2. 自身の興味や関心で、自分の時間や環境の範囲でできる活動であることが理解できる。 3. 社会で起きている問題に関心を持ち、考え、行動することができる。			
<b>授業の概要</b> ボランティアの意義や歴史、種類（領域）、課題等の基本的な事柄を学び、自ら課題を見つけ、調べ、まとめ、発表する活動を行い、ボランティア活動を理解する。			
<b>授業計画</b> 第1回：オリエンテーション（なぜボランティアを学び、取り組むのか） 第2回：ボランティアの定義・動機 第3回：ボランティアの理念・思想 第4回：ボランティアの活動・意義 第5回：社会問題のとらえ方①（社会問題とはなにか） 第6回：ボランティア事例検討：児童虐待防止の市民活動 第7回：ボランティア事例検討：遊び場づくりの市民活動 第8回：社会問題のとらえ方②（ビブリオバトル） 第9回：ボランティアと関係機関 第10回：ボランティアとNPO 第11回：地域社会におけるボランティアの実践を知る（羽生市） 第12回：ボランティアをPDCAサイクルで考える 第13回：活動時の注意事項（ルールやマナー、ボランティア保険） 第14回：まとめ 第15回：振り返り 定期試験：筆記		<b>授業時間外の学習</b> ・毎回の講義について復習し、学びや気づきの整理、課題などに取り組む（授業ごとに1時間程度） ・中間レポート（書評）および最終レポート（振り返り）の執筆を行うにあたり、文献調査や調べ学習等を行う（レポートごとに3時間程度） ※その他、それぞれの居住している市町村にあるボランティアセンターなどに訪ねるなど、実際に現場へ行くことも推奨する。	
<b>授業の方法</b> 基礎的な項目は講義を行い、その後、調べ学習・討議・発表形式で進める。基本的に毎回の講義ごとにリアクションペーパーや課題レポートでフィードバックを行う。授業のまとめ感想をグループワーク資料として使用する。			
<b>テキスト</b> 第1回の講義時に提示する			
<b>参考書・参考資料等</b> 「これだけは理解しておきたいボランティアの基礎」日本橋出版 他 適宜紹介			
<b>学生に対する評価</b> 定期試験（30%）・提出物（50%）・授業参画度等（20%）を総合的に評価			
<b>履修上の注意</b> ボランティアの意味から、自ら積極的に学習し、ボランティア活動に取り組むこと。 授業は学生主体で自分自身の考えや意見を述べるためにも、事前・事後学習が重要である。			
実務経験の有無	有	実務経験	現場実践や中間支援組織でボランティア支援・推進等
<b>実務経験を活かした教育内容</b> 非営利組織（NPO）等の運営や活動に携わった実践経験をいかに、具体的事例をもとに授業をする。			